

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~7日	1月 ~14日	1月 ~21日	1月 ~28日	2月 ~4日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	3	6	5	6	5
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	4	14	16	8 (9)	12
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	0	1	2	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	2	2	1	1	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	3	1	1	3	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1	5	2	1	6

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第3週(1月29日~2月4日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9		2			4	1	2
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1		1					
五類	11	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1		1					
		急性脳炎	1				1			
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2					2		
		シアルジア症	1							1
		梅毒	6					3	1	2

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり15.91人の報告があり、昨年夏のピーク(第36週:定点当たり14.89人)を上回りました。手洗い、換気、医療機関や混雑した電車・バスでのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。また、体調がすぐれないときは、周囲にも配慮して休養をとりましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり25.97人の報告があり、前週の約1.6倍に増加しました。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が62件あり、1週間の報告数では今シーズン最多となりました。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

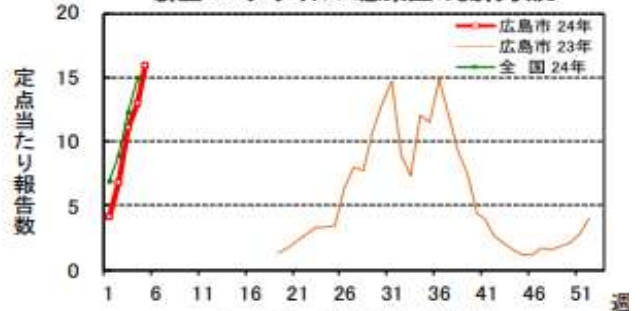
3 感染性胃腸炎

定点当たり11.77人の報告があり、多い状況が続いています。集団発生も報告されており、保育園や学校、福祉施設など集団生活の場では特に注意が必要です。

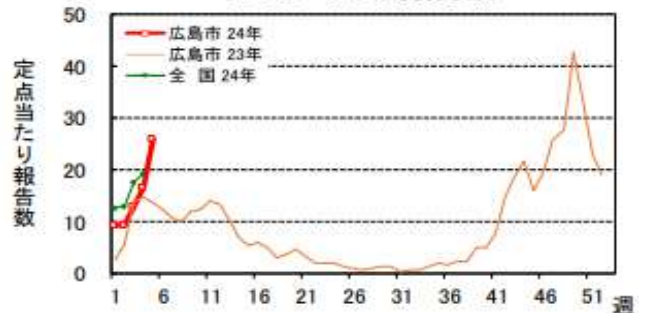
4 咽頭結膜熱

定点当たり2.41人の報告があり、例年のピーク時を上回る状況が続いています。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行状況



インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	909	25.97	13.49	▲	小児科	ヘルパンギーナ	1	0.05	0.08	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	557	15.91		▲		流行性耳下腺炎	1	0.05	0.05	
小児科	RSウイルス感染症	7	0.32	0.18	▲	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	53	2.41	0.34	▶		流行性角結膜炎	11	1.38	0.38	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	3.68	1.30	▶	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	259	11.77	6.97	▶		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	4	0.18	0.11			マイコプラズマ肺炎	3	0.43	0.12	
	手足口病	13	0.59	0.16			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.14			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	0.03	
	突発性発しん	5	0.23	0.19							

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	◀	▶	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	5	10歳未満・1人、40歳代・1人、60歳代・2人
5	急性脳炎	1	2	10歳未満
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	4	60歳代、80歳代
5	梅毒	3	8	20歳代・3人